

## 3-②. 市民活動の場の支援(CANVAS谷町)

－ 2013年4月のオープンから丸2年。ボラ協らしい民設民営の拠点を運営！

2013年4月にCANVAS谷町（大阪市中央区）を新たに開設。CANVAS谷町では、フレックスデスク8団体、コーディネーションデスク2団体が活動している。CANVAS谷町の自主財源でもある貸し会議室の平均稼働率は、小会議室43%、大会議室33%、畳スペース18%であった。

### 1. CANVAS谷町を拠点として活動する団体

CANVAS谷町を拠点として活動する団体に、フレックスデスク、コーディネーションデスク、レターボックス、ロッカー小・中・大を、年度または半期で貸出している。

#### （1）フレックスデスク

事務所を持たず、週数回程度の事務所作業等や活動を進める「事務所機能」を求める団体にとっての利便性をもったデスクを提供。団体が緩やかに場をシェアしながら、一時的な事務所機能を置く中で、新拠点に集まる人、団体、支援者と出合ったり、共に資源や知恵を共有できる場を作っている。

##### ■フレックスデスク利用団体一覧（8団体）

特活）大阪市計量協会、大阪手びきの会、関西音声サポート、創作サポートセンター、特活）地球コード研究会、特活）日本パークレンジャー協会、福祉カウンセリング協会、東日本大震災県外避難者西日本連絡会（まるっと西日本）

#### （2）コーディネーションデスク

フレックスデスクよりも利用頻度が高く、活動・事業でコーディネーションや電話相談を行なう団体に対して、デスクを提供している。

##### ■コーディネーションデスク利用団体一覧（2団体）

特活）キャンピズ、大阪セルフヘルプ支援センター

#### （3）レターボックス

対外的な連絡先（郵便受付）を持ちたい団体に対して、利用料1,000円で貸し出している。

##### ■レターボックス利用団体一覧（24団体）

キャンピズ、大阪セルフヘルプ支援センター、大阪市計量協会、大阪手びきの会、関西音声サポート、創作サポートセンター、地球コード研究会、福祉カウンセリング協会、東日本大震災県外避難者西日本連絡会（まるっと西日本）、日本パークレンジャー協会、ACoA ストーリーズ、NPO パーソン to パーソン、大阪交通遺児を励ます会、大阪筆記通訳グループ「ぎんなん」、おはなしグループ綿の花、くつろぎステーションつばさ、SAIL'0（大阪帆船と国際交流）、おおさか行動する障害者応援センター、なにわ語り部の会、プチ大阪兄弟姉妹会、ACODA ローゼズ、いくの学園、ワーキング・ウィメンズ・ネットワーク、コーポラティーバまいど

#### （4）ロッカー

CANVAS谷町を活動の拠点とし、活動・事業で荷物の保管が必要な団体に対しロッカーを貸し出している。

##### ■ロッカー利用団体一覧（22団体）

ACoA ストーリーズ、大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会、くつろぎステーションつばさ、手話サークル「つくし」、創作サポートセンター、中卒・中退の子どもをもつ親のネットワーク、プチ大阪兄弟姉妹会、ACODA ローゼズ、コーポラティーバまいど、キャンピズ、大阪スタタリングプロジェクト、まるっと西日本、関西シニアライフアドバイザー協会、大阪手びきの会、地球コード研究会、創作サポートセンター、日本パークレンジャー協会、大阪筆記通訳グループ「ぎんなん」、大阪セルフヘルプ支援センター、なにわ語り部の会、大阪交通遺児を励ます会、福祉カウンセリング協会

## 2. CANVAS谷町で実施された様々な動き

### （1）市民活動スクエア「CANVAS谷町」利用団体との意見交換会の開催

（第1回）2014年7月26日（土） 参加者：6団体

（第2回）2014年7月29日（火） 参加者：12団体

主な議題：（1）たたみスペースの有料化、（2）予約開始日の変更、（3）キャンセルの取り扱い変更  
（4）大会議室・調整大会の実施

### （2）たにまちっくの活動

「CANVAS谷町」に全国から集まる市民活動情報を分かりやすく来館者に伝えることや、心地の良い空間を作り、様々な人の居場所にする、さまざまな団体、人の橋渡しをすることを目的として活動をしているチーム。

ボランティアとともにカフェコーナーを初めて利用する人向けに説明書きを作成したり、大会議室を利用した後に片づけをしやすいよう会議室の復元の写真を整備し、利便性を高めた。

七夕かざりに来館利用者に「こんな活動拠点だったらいいな」という願いを書いてもらった



## 3. CANVAS谷町の全体的利用状況

人と人がつながったり、市民活動に関する情報を入手できることはCANVAS谷町の重要な機能のひとつである。情報交流スペースでは、市民活動に関するイベント、ニュースレター、ボランティア情報などを提供した。同時に、NPO支援の一環として印刷機や紙折り機などをワークステーションに設置しているが、印刷機・コピー機の利用は453（前年比72件減）であった。

### （1）貸し会議室の月別稼働率と利用主体別割合、利用者数

貸し会議室はNPO支援メニューの一つであるとともに、CANVAS谷町の大きな自主財源でもある。利用主体別に利用実績を見ると、パートナー登録団体が54.7%、大阪ボランティア協会が41.8%を占めた。一般利用は2.4%、会員利用が1.1%である。年間の平均稼働率は、小会議室43.0%、大会議室33.7%、畳スペース18.8%であった。

最後に、会議室利用者は延べ12,187人（前年比382人増）であった。月平均1015人の利用。

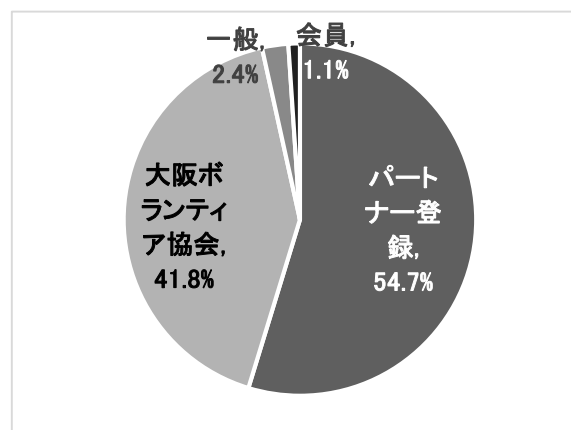


図3-1 利用主体の割合

図3-2 貸し会議室の月別稼働率と利用人数

